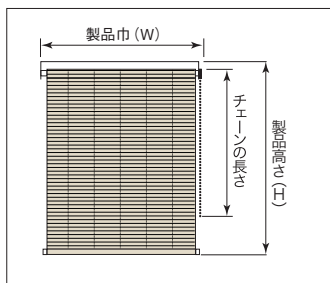


寸 法



■製作可能寸法

製品巾 (W)	KP101~KP105: 500~2,700mm
	KP106~KP109: 500~2,300mm
製品高さ (H)	500~3,000mm
巾・高さ比	1:4が限度

※サイズは巾5mm単位・高さ10mm単位です。

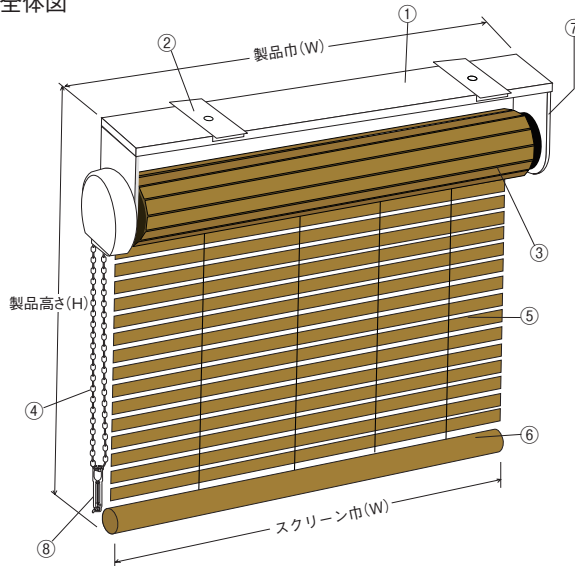
■チェーンの長さ

製品高さ (H)	チェーン長さ
500~3,000mm	製品高さの約70%

※高窓等製品高さよりも高い位置に取付ける場合は、別途チェーンの長さを100mm(10cm)単位でご指定ください。

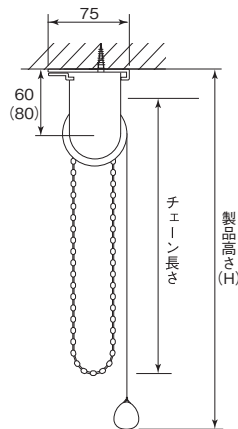
構 造

■全体図

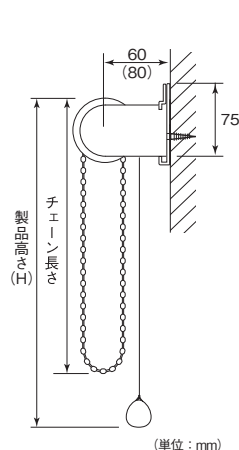


■側面図

●天井付けの場合



●正面付けの場合

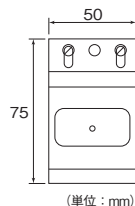


(単位: mm)

※()内は、サイドホルダーLの寸法です。

部品名	材 質
①セットバー	アルミ押出形材
②ブラケット	銅板プレス成形品、樹脂成形品
③ローラーパイプ	アルミ押出形材
④チェーン	樹脂成形品、化学繊維
⑤スクリーン(すだれ)	木材(シナ)/竹材、化学繊維
⑥ウエイトバー	木材(シナ)
⑦サイドホルダー	銅板プレス成形品
⑧コードクリップ	樹脂成形品

■ブラケット(天井付け・正面付け共通)



(単位: mm)

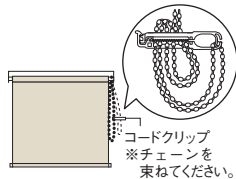
ブラケット必要数

製品巾 (mm)	500~1,195	1,200~2,195	2,200~2,700
部品名			
ブラケット	2個	3個	4個

コードクリップ

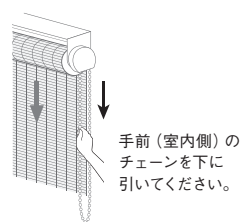
コードやチェーンを子供の手が届かない位置で束ねておくクリップです。子供の手の届かない位置で束ねることにより事故を防止する効果があります。

カラー:ホワイト

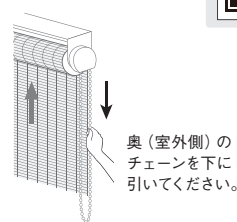


■操作方法

●すだれの下ろし方



●すだれの上げ方

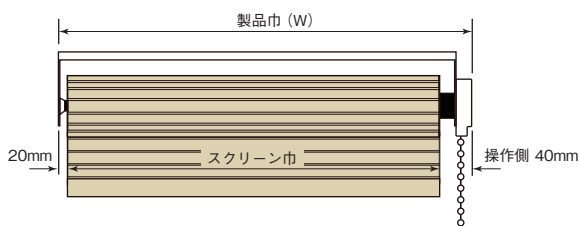


※途中で止める場合、チェーンを下に引くのを止めるとそこで止まります。

操作動画



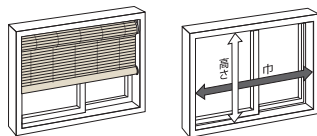
■製品巾とスクリーン巾



サイズの測り方

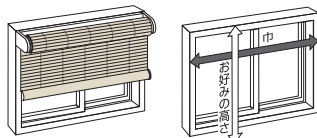
●天井付け（窓枠の内側に取付ける場合）

巾は窓枠の内側寸法から10mm程度差し引いてください。高さは窓枠の内側寸法と同じになります。
※製品巾とスクリーン巾の違いにより窓枠とスクリーンの間に隙間ができます。



●正面付け（窓枠の外側に取付ける場合）

巾、高さともに窓枠の外側寸法以上を製品寸法としてください。



オプション

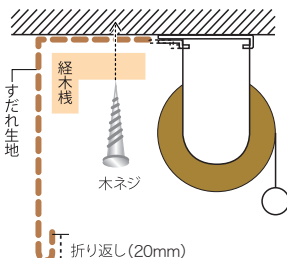
■バランス

スクリーン（すだれ）と共生地のバランスを取付けることで、吊り元を隠し、高級感ある仕上りになります。

■製作可能寸法

(単位：mm)

品番	巾	高さ
KP101～KP105	500～2,700	100～400
KP106～KP109	500～2,300	



※製作寸法は巾・高さとも10mm単位からご注文いただけます。製品本体とは異なりますのでご注意ください。



■逆巻仕様

無償

コーナー窓に納まりのよいスクリーンの逆巻仕様をご指定いただけます。

※仕様の詳細についてはP.61をご参照ください。

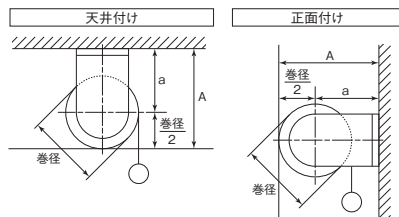
巻径の目安／スクリーン別サイドホルダー対応表

■巻径の目安

(単位：mm)

製品高さ(H)	KP101～KP103 月夜(つきよ)	KP104～KP105 涼風(すずかぜ)	KP106～KP107 山里(やまと)	KP108～KP109 遠山(えんざん)
1,200	70	70	65	65
2,000	95	95	80	80
2,800	115	115	95	95

※上記寸法は計算値です。製品の特性上、実際の寸法とは異なる場合がありますので、目安としてご参照ください。



$$A = a + \frac{\text{巻径}}{2}$$

a寸法
サイドホルダー-S：60mm
サイドホルダー-L：80mm

(単位：mm)

■スクリーン別サイドホルダー対応表

(単位：mm)

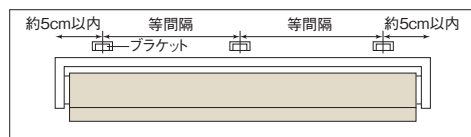
サイドホルダー	KP101～KP103 月夜(つきよ)	KP104～KP105 涼風(すずかぜ)	KP106～KP107 山里(やまと)	KP108～KP109 遠山(えんざん)
S	～H1,790	～H1,790	～H2,390	～H2,390
L	H1,800～	H1,800～	H2,400～	H2,400～

※天然木の特性上、上記設定と異なる場合がありますのでご了承ください。

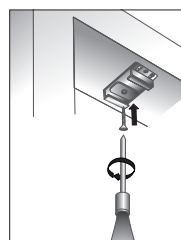
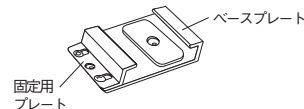
取付方法

1. ブラケットの取付け

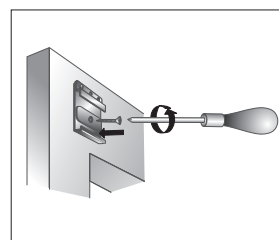
- ① ブラケットの取付位置は両端から約5cm以内が適当です。
3個以上の場合はその間に等間隔に取付けてください。



- ② ベースプレート中央の穴を使用し、付属の取付ネジでブラケットを取付けてください。この際、ベースプレートと固定用プレートとを止める両サイドのボルトを緩めておきます。



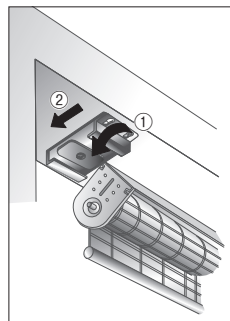
▲天井付け



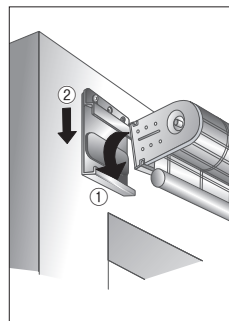
▲正面付け

2. 本体の取付け

- ① 本体をベースプレートの溝にはめ込み、セットバー上面全体をベースプレートに押しつけてください。
② 固定用プレートをスライドさせ、ブラケット両側の溝と本体が確実にかみ合っていることを確認した上で両サイドのボルトを締め、本体を固定してください。

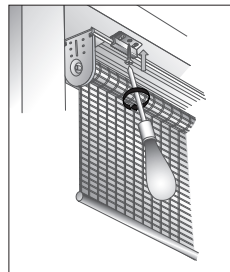


▲天井付け

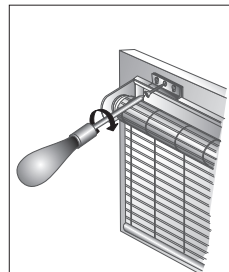


▲正面付け

- ③ 固定用プレート中央の穴を使用し、ベースプレートごと付属の取り付けネジで固定してください。



▲天井付け



▲正面付け

3. 本体の取外し

取付けと逆の手順で取外してください。